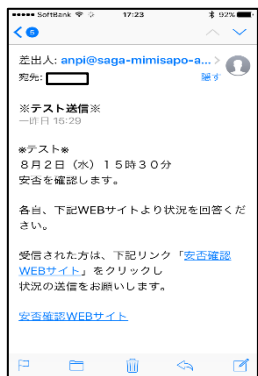




みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日



saga-mimisapo-anpi.jp

### 安否確認

体の状態は?  
無事です(大丈夫です)  
怪我をしています(動けます)  
怪我をして、動けません

どこにいますか?(場所)  
自宅 避難所 佐賀県外 病院入院中  
施設入居中

送信

## 7月の聴こえの相談

### これまで最高の利用者

開所して4年目の今年は、聴こえの相談の利用者の

うち、**新規利用者**が毎月過去3年の実績を上回っています。

特に7月は聴こえのセミナー、地域の回覧板による広報、公民館サークルなどへの周知、巡回聴こえの相

談もあり、これまで最高の **19名** となりました。

特に80歳以上の来館者の増加が特徴です。相談と相談の間に予約を取ることもしばしばみられ、再来を合わせると51件もあり、毎月記録を更新しています。

## 災害時安否確認システム

ろう者・難聴者・情報支援者登録 150名

いまやどこで起こっても不思議ではない自然災害。いざという時に備えて準備を始めた安否確認システムは、当事者・支援者サークル・地元支援者・佐賀市内の25地区の民生委員地区協議会への説明も一通り終了しました。

一部テストも始まりましたが、受信できたりできなかったり。これらの大半は、いたずらメール対応が仇となっています。安否確認システムからのメールは、受け取れる設定が必要です。

また、このシステムは平時での情報発信を目的にもしています。センターが主催するイベントや講演会、研修などの情報をいち早くお知らせします。平時より相互のやり取りを密にして非常時に備え、まずは日常的な訓練と自分の身は自分で守るとの心構えが大事です。

### <設定方法>

メール設定・迷惑メール対策

※通信契約会社各社にて文言が多少違います

受信リストに登録

anpi@saga-mimisapo-anpi.jp を入力

設定できない場合はショップへ

相談



測定



巡回聴こえの相談で、今年は佐賀市三瀬村、有田町など4か所を巡回、17名の相談がありました。

申し込まれる方は、ほとんどが80歳以上です。「何度も足を運べない」「センターまで自動車の運転ができない」などの理由から、一期一会の相談に終わることがほとんどで、やり直しがきかない緊張の1時間です。限られた機器と相談時間の中で悩みを軽くする、解決の糸口を見つけ相談者が笑顔で帰宅される姿や「また巡回にきてください」という言葉を聴くとホッとします。

医師相談では、お一人30分の時間を確保していましたが、山口先生(当センター医師相談担当)の熱心で相談者に寄り添った対応に、制限時間オーバーが多くみられました。



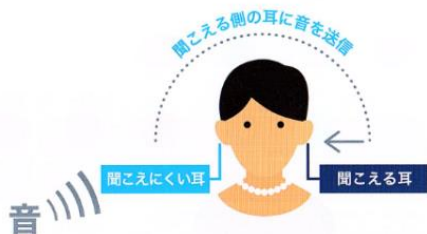
## シリーズ補聴器—側耳性難聴とクロス補聴器

片耳が聞こえない難聴（一側耳性難聴）の方のために開発された補聴器があるのをご存知でしょうか。

片耳が聞こえてもう片耳が難聴の人は「片耳は聞こえるから補聴器は必要ないけど、環境によっては不便やストレスを感じて疲れる」という話をよく耳にします。実際に片耳難聴の方は困ることがあっても「補聴器はいらぬ」と考えている方が多く、補聴器利用者はまだ少数派のように感じます。

ですが、片耳難聴の方は会話を聞き取るのに大変な集中力を必要とします。聞こえない方向から話しかけられると聴き取れない言葉があるため、会話の中から相手が何を言っているのかを推測しながら想像で言葉を補っています。そのため、両耳で聞き取るのと比較して大変神経を使うため過度に疲れやすくなります。

そのような片耳難聴でお困りの方に試してほしい補聴器があります！それが片耳難聴者のために開発された「クロス補聴器（CROS 補聴器）」です。クロス補聴器（CROS 補聴器）は従来の補聴器と違い小さな音を大きくするのではなく、聞こえない耳に入る音を聞こえる耳に瞬時に転送して「聞こえの死角」をなくするための補聴器です。



クロス補聴器を試してみたい方はお気軽にお問合せください。事前予約をしていただくと試聴用クロス補聴器をご用意できます。聞き取れる範囲が広がる感覚をぜひ体感してください。

聴こえに不安がある方はサポートセンターにご相談ください。聴こえについて親身になって相談にのってくれますよ。

岩永補聴器店  
代表取締役 岩永 行弘

編集後記：佐賀市は連日の猛暑日です

## ICT 活用講座

ろう者向け、難聴者向け各2時間×4回の講座が終わりました。参加者は、ある程度パソコンを使い慣れた人ばかりでしたので、学びたいリクエストに応える内容となりました。暑中見舞いのハガキ作成、封筒印刷、パワーポイントなどバラエティ豊かな内容でした。

難聴者向けの講座では、一つのスクリーンに字幕風に文字情報を入れる形をとりました。どうすれば読みやすいか、分かりやすい内容で伝えるにはどうするかなど3行字幕ならではの問題点にふれる機会となりました。



## 第4回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園



手話言語条例を全国で初めて制定した鳥取県が主催する第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の予選会が8月3日（木）行われました。予選参加54チームのうち、本選に行けるのは20チームのみ。センターが支援してきた高校は、今年もこの狭き門を通ることができませんでした。

## 要約筆記者養成講座

パソコンコース 受講生募集

9月2日～平成30年2月24日

毎週土曜 全21回 10:00～15:00

定員10名を募集します。締め切りは8月25日（金）詳しくはお問い合わせください。

難聴者向け日曜教室≫ 8月27日（日）佐賀城本丸歴史館

ろう者向け日曜教室≫ 9月24日（日）「からす問題」

10:00～12:00 佐賀県総合福祉センター集会所

社会参加事業≫ 10月2日（月）ダイハツ九州久留米工場見学

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12（佐賀商ビル4階）  
TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705  
メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp  
ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30～18:00

9:30～20:00（水曜）

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始